

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、ソフトウェア・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前(平成20年3月31日以前)の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後(平成20年4月1日以後)の所有権移転外取引の内リース料総額が少額(3百万円以下)のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、5,605,499円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
構築物	5,898,750	0	5,898,750	0
車両運搬具	2	0	2	0
什器備品	13	0	13	0
事業運営積立資産	7,000,000	0	0	7,000,000
合 計	12,898,765	0	5,898,765	7,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
事業運営積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	—
合 計	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	74	0	74
ソフトウェア	858,942	858,942	0
合 計	859,016	858,942	74

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	長岡市	0	61,053,545	61,053,545	0	—
派遣職員人件費補助金	長岡市	0	18,639,073	18,639,073	0	—
長岡まつり観光ふれあい広場事業補助金	長岡市	0	2,338,471	2,338,471	0	—
観光客受入れ関係事業補助金	長岡市	5,898,765	0	5,898,765	0	指定正味財産
観光客受入れ関係事業補助金	長岡市	0	12,623,306	12,623,306	0	—
合 計		5,898,765	94,654,395	100,553,160	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	
固定資産除却損及び売却による振替額	5,898,765
合 計	5,898,765